

医科学（I）（MSD-I : Medical Science for Dentistry-I）

コーディネーター：口腔医学講座（関連医学分野） 千葉俊美教授
 担当講座（分野）：口腔医学講座（関連医学分野）、医学部各講座

第4学年 前期

講義
 前期 30時間

教育成果（アウトカム）

歯科医師が必要とする医学的知識の習得を目的とし、さらなる専門分野の知識を得ることにより、歯科診療上重要な疾患の病因・病態と診断・治療を考えることが出来る。（ディプロマ・ポリシー：3、4、8）

事前学習内容及び事前学習時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月1日（木） 1限	西田泰典助教 （眼科学講座）	1. 眼科学総論-視覚器の解剖と機能	以下の項目について説明ができる。 1. 眼球の横断面の構造 2. 眼球と付属器の発生 3. 網膜から視神経、後頭葉に至る視覚伝導路の発生 [E-6-②] 事前学習：眼科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。
7月1日（木） 2限	石川陽平助教 （眼科学講座）	2. 角膜移植と角膜屈折矯正手術、白内障手術	以下の項目について説明ができる。 1. 角膜移植の適応となる疾患や方法 2. 角膜屈折矯正手術の適応と方法 3. 白内障の種類 4. 白内障手術の適応と方法 [E-6-②] 事前学習：眼科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。
7月1日（木） 3限	小山理恵准教授 （産婦人科学講座）	3. 産科学総論	以下の項目について説明ができる。 1. 妊娠経過 2. 分娩経過 [E-6-③] 事前学習：分娩進行過程および周産期の母胎の生体変化を確認し講義に臨むこと。
7月1日（木） 4限	庄子忠宏特任准教授 （産婦人科学講座）	4. 婦人科学総論	以下の項目について説明ができる。 1. 女性性器の構造、機能 2. 婦人科良性疾患 3. 婦人科悪性腫瘍の診断と治療 [E-6-③] 事前学習：婦人科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月2日(金) 1限	及川誠助教 (眼科学講座)	5. 歯科・口腔外科領域 および全身疾患と眼	以下の項目について説明ができる。 1. 口腔、上顎洞、眼窩の解剖学的関係 2. 歯科・口腔外科疾患による眼合併症 3. 口腔内と眼病変を伴う全身疾患の症状、 病態と治療 [E-6-②] 事前学習：眼科学に関する解剖および機能 を確認し講義に臨むこと。
7月2日(金) 2限	渡部大輔講師 (皮膚科学講座)	6. 皮膚科学総論	以下の項目について説明ができる。 1. 皮膚と粘膜の解剖・生理 2. 皮膚疾患と粘膜病変のかかわり 3. 歯科(口腔疾患)と皮膚粘膜の関連性 [E-6-②] 事前学習：皮膚科学に関する解剖および機 能を確認し講義に臨むこと。
7月2日(金) 3限	角田加奈子助教 (皮膚科学講座)	7. 皮膚炎・薬疹	以下の項目について説明ができる。 1. 湿疹皮膚炎の機序と治療法 2. 口腔粘膜病変を伴う薬疹の種類と治療 3. ベージェット病の臨床所見と発症機序お よび治療 [E-6-②] 事前学習：皮膚科学に関する解剖および機 能を確認し講義に臨むこと。
7月2日(金) 4限	角田加奈子助教 (皮膚科学講座)	8. 感染症	以下の項目について説明ができる。 1. 細菌性、ウイルス性、真菌・抗酸菌、性 行為感染症の種類を列举する 2. 上記感染症の発症機序、治療法、予防法 [E-6-②] 事前学習：皮膚科学に関する解剖および機 能を確認し講義に臨むこと。
7月5日(月) 1限	三田俊成助教 (精神神経科学 講座)	9. 精神・神経疾患総論	以下の項目について説明できる。 1. 主な精神症状 2. 統合失調症 3. 歯科に関連する精神障害 [E-6-②] 事前学習：精神神経医学に関する国家試験 問題、教科書および過去の講義資料を確認 し講義に臨むこと。
7月5日(月) 2限	杉村淳准教授 (泌尿器科学講座)	10. 泌尿器総論	以下の項目について説明できる。 1. 泌尿器の解剖・生理 2. 泌尿器疾患の病態生理・症候 3. 泌尿器疾患での歯科治療の留意点 [E-6-②] 事前学習：泌尿器科学に関する解剖および 機能について確認し講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月5日(月) 3限	阿部貴弥教授 (泌尿器科学講座)	11. 腎不全とその治療	以下の項目について説明できる。 1. 急性,慢性腎不全の原因・病態・治療 2. 人工透析と腎移植 3. 人工透析と腎移植例での歯科治療上の留意点 [E-6-②] 事前学習：腎臓に関する解剖および機能について確認し講義に臨むこと。
7月5日(月) 4限	加藤陽一郎講師 (泌尿器科学講座)	12. 尿路感染症, 尿路結石症、性行為関連感染症	以下の項目について説明できる。 1. 尿路感染症、性行為関連感染症の病態と治療 2. 腎・尿管・膀胱結石の病態と治療 3. 尿路感染症、腎・尿管・膀胱結石例での歯科治療上の留意点 [E-6-②] 事前学習：尿路に関する解剖および機能について確認し講義に臨むこと。
7月6日(火) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	13. 身体所見とリスク評価と内科救急疾患と主要徴候	以下の所見と症候の発現機序を説明し、代表的疾患を列挙できる。 1. バイタルサイン(体温、脈拍、血圧、呼吸)の原理と測定 2. 胸痛、ショック 3. 頭痛、意識障害 4. 呼吸困難、出血 [E-6-②]
7月6日(火) 2限	朝倉賀子助教 (小児科学講座)	14. 小児科学総論 1	以下の項目について説明ができる。 1. 小児の成長と発達 2. 小児期の疾患の特殊性について [E-6-②]
7月6日(火) 3限	朝倉賀子助教 (小児科学講座)	15. 小児科学総論 2	以下の項目について説明ができる。 1. 小児の疾患の概要 2. 小児期の疾患の特殊性について [E-6-②]
7月6日(火) 4限	朝倉賀子助教 (小児科学講座)	16. 成長と発達	以下の項目について説明ができる。 1. 新生児・小児の疾患について [E-6-②]
7月7日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	17. 感染症・院内感染	以下の項目について説明できる。 1. 感染症の分類、主要な症候、病態 2. インフルエンザ 3. 院内感染経路および院内感染防止対策 [E-6-②]
7月7日(水) 2限	鈴木啓二郎教授 (臨床検査医学講座)	18. 輸血検査・輸血療法、GVHD	以下の項目について説明ができる。 1. 輸血検査(血液型検査、不規則抗体スクリーニング検査、交差適合試験、輸血後感染症に関する検査) 2. 輸血療法(輸血の適応と輸血の副作用) 3. 輸血後GVHDの病態と予防方法 [E-6-②]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月7日(水) 3限	諏訪部章教授 (臨床検査医学 講座)	19. 臨床検査総論	以下の項目について説明ができる。 1. 基準値・基準範囲・カットオフ値 2. 感度・特異度、検査後確率、ROC 曲線 3. 疾病の予後の推定に関する臨床検査の意義 4. 代表的生化学検査の測定法と基準値、臨 床的意義 [E-6-②]
7月7日(水) 4限	諏訪部章教授 (臨床検査医学 講座)	20. 細菌学的検査	以下の項目について説明できる。 1. グラム染色について 2. 臨床的に問題となる薬剤耐性菌について [E-6-②]

コース最終試験 日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
7月8日(木) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	「医科学Ⅰ」評価試験	「医科学Ⅰ」で修得した知識を確認する。

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	歯科医師のための内科学 (第1版)	千葉俊美, 山田浩之編	医歯薬出版	2021年
参	☆歯科内科 Little and Falace's Dental Management of the Medically Compromised Patient 9 th ed.	James W. Little et al.	Mosby	2017年刊行
	内科学 11版	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2017年
	今日の治療薬:解説と便覧 2021年版	浦部晶夫ほか編	南江堂	2021年
参	☆小児科学 標準小児科学 8版	内山聖監修	医学書院	2013年
参	☆皮膚科学 歯科医のための皮膚 科学 2版	山崎雙次ほか編	医歯薬出版	2004年
参	☆精神科学 現代臨床精神医学 改 訂12版	大熊輝雄 著	金原出版	2013年
	ICD-10 精神および行動 の障 害:DCR 研究用診断 基準 新訂版	WHO 編	医学書院	2008年
参	☆臨床検査医学 最新臨床検査項目辞典 標準臨床検査医学 4版	伊藤機一ほか編 高木康、山田俊幸 編	医歯薬出版 医学書院	2008年 2013年

参	☆産婦人科学講座 標準産科婦人科学 5 版	綾部琢哉、板倉敦夫 編	医学書院	2021 年
参	☆眼科学 標準眼科学 14 版	木下茂監修	医学書院	2018 年
参	☆泌尿器科学 標準泌尿器科学 9 版	並木幹夫ほか編、赤座英之監修	医学書院	2014 年

成績評価方法

「医科学 I」評価試験 100%
*各科より講義数に応じた問題数による総合試験を実施する。